



北海道大学大学院理学研究院数学部門主催
科学実験教室

通信ケーブルの中では 何が起きている？

～数学で情報が伝わる
しくみを考える～

私たちは毎日、通信ケーブルを通して沢山の情報を安定してやり取りしています。ケーブルの中をとて小さなスケールまで拡大して見ると、粒子はバラバラに動いています。では、このランダムな動きから、なぜ安定した信号の流れが生まれるのでしょうか。図やシミュレーションを使って、数学がこのしくみをどう解き明かすのか体験しましょう。

講師：スクリムシャー・トラビス

(北海道大学大学院理学研究院数学部門 准教授)

2026.12.6(日)
13:00～16:30

会場：北海道大学理学部4号館 4-501
(札幌市北区北10条西8丁目)

参加費：無料

持ち物：筆記用具

対象：中学生（15名まで）とその引率者

生徒1名につき引率者1名まで一緒に受講できます。
引率者とは、保護者（家族の方）あるいは担当の中学校教員を指します。中学生単独の参加も可能です。

申込み方法

下記URLから11月24日までに登録してください。申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

webページ：<https://www2.sci.hokudai.ac.jp/dept/math/event/14904>

右記QRコードからもアクセスできます。

共催：公益財団法人KDDI財団、北海道大学DEI推進本部 / 後援：KDDI（株）北海道総支社

北大数学教室の教員と学生たちが
楽しく、わかりやすくお伝えします！



たとえば……

「実は数学が得意なお母さん」

「実は数学が嫌いだったけれど老後の楽しみに
もう一度学んでみようとしているおじいさん」

「実は数学を武器に北海道大学を受験しよう
と思っている高校生のお姉さん」

「実は数学の授業に使えるネタを探している中学の先生」
などなど、みなさんを歓迎します。

